

## 和歌山病院で実習させていただいて



中下 優

国立病院機構 和歌山病院の皆様、先日は貴重な時間を過ごさせていただきましてありがとうございました。

医師の先生をはじめ、事務職員の方々も私達学生に大変親切にしてくださいました。おかげさまで充実した二日間の実習でした。特に、かなり緊張しながら結核病棟で実習させていただいたことがとても印象に残っています。四年生の臨床講義においてお話を聞かせていただいた時とはひと味違い、患者さんの表情や病棟の緊張感を直に感じることができました。患者さんには疾患自体だけでなく、精神的な面にも負担がかかるので、医師としてそのケアもこなせなければいけません。結核の患者さんを見る機会が以前に比べ少なくなったとはいえ、医師になる者として正しい知識を身につけ患者さんに正しい対応をするという責任の重さを痛感しました。和歌山県内唯一の結核拠点病院というとても恵まれた施設で実習させていただいたことを感謝致します。

さらに南方院長には、常に問いかけ模索することの大切さを教えていただきました。南方院長は理解の遅い私に対しても熱心に根気よく指導してください、感謝してもしきれません。二日間レクチャーを受けお話を伺う中で、私も努力し続け良医を目指すことを心に誓いました。この熱い気持ちを持ち帰り、これからの学生生活に活かします。近い将来少しでも成長した姿で、和歌山病院の職員の方々と再会し、お仕事で一緒する機会があれば嬉しいと考えます。

短い期間ではありましたが、本当にお世話になりました。南方院長はじめ諸先生方ならびに職員の方々、ありがとうございました。